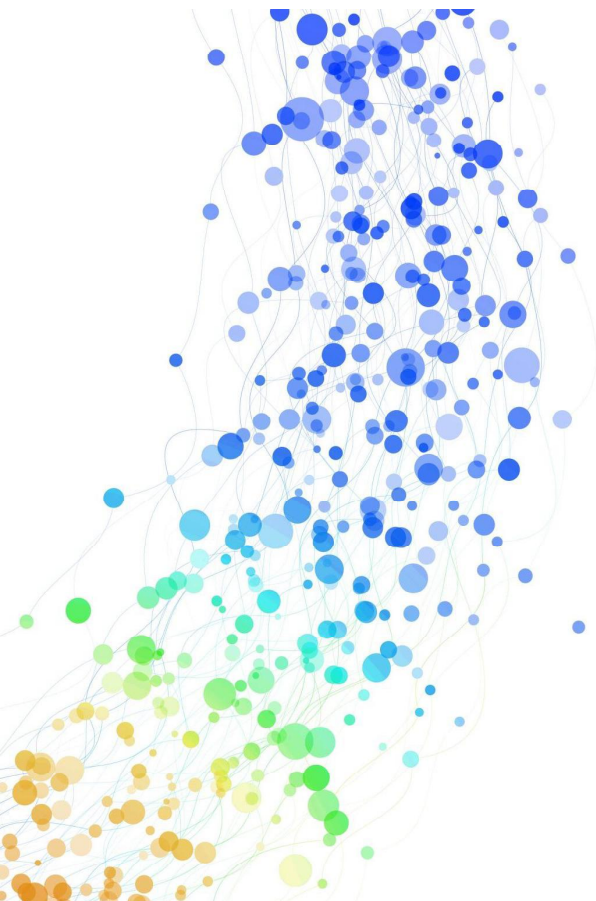




愛知の先端医療

公益社団法人 愛知県医師会
理事 小林邦生

1/6

「愛知の先端医療」を紹介する企画書

愛知県医師会 理事 小林邦生

目的：愛知県民が恩恵を享受するのが最大の目的。

- 1 先端医療、高い倫理観に基づく医療など、尖った医療を提供する医療機関を、愛知医報で会員に周知する。
- 2 患者さんの愁訴に真摯に耳を傾け、円滑な診療の一助となることを目指す。
- 3 愛知医報の購読意欲を増やす。

記事の内容：

A4の愛知医報1～2ページ（1,800～3,600字程度）分。写真や図説も可。

対象疾患・症状などを明記。

対象患者

治療方法：どんな医療かわかりやすく。

メリットとデメリットも記載。治療成績なども分かれば記載。

費用対効果の説明があればなお良い。

QRコードで動画やホームページへ誘導することも可。

連絡先や受診予約方法などを明記。

条件：疾病の予防や治療を目的とする。

原則、保険診療収載されている治療であること。

自由診療は不可。

地域医療や僻地医療などの先進的な取り組みも可。

営利目的やname value獲得目的は厳禁。

運用方法：

まずは4大学に依頼をして、次第に裾野を広げて愛知県全域の中核病院へ依頼。

原稿は広報委員会で審査の後、認めたものを掲載する。無条件に掲載ではない。

基本的には受付順に掲載。

同時の場合には診療科、同系列病院、大学など均等になるよう考慮する。

2/6

これまでの掲載実績

Vol.	発行日（号数）	タイトル	執筆者（所属）	執筆者氏名
1	R7.8.15(2244)	～低コスト高安全性が期待される特許技術～piggyBacトランスポゾン遺伝子導入法によるCAR-T細胞療法	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学教授 名古屋大学医学部附属病院副病院長、小児がん治療センター長	高橋義行
2	R7.9.1(2245)	ルタテラ治療の導入～神経内分泌腫瘍（NET）に対する新たな治療戦略～	名古屋市立大学病院放射線科助教 名古屋市立大学病院放射線科教授	鳥居 暁 樋渡昭雄
3	R7.10.1(2247)	da Vinci SPを用いた経膀胱アブレーションによるロボット支援前立腺全摘除術	藤田医科大学医学部腎泌尿器外科学講座講師 藤田医科大学東京先端医療研究センター長	竹中政史 白木良一
4	R7.10.15(2248)	心不全センターの最先端医療への取り組み	愛知医科大学循環器内科教授	天野哲也
5	R7.11.15(2250)	愛知県における慢性腎臓病（CKD）の診療指針	名古屋大学腎臓内科教授 名古屋市立大学腎臓内科教授 藤田医科大学腎臓内科教授 愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科教授	丸山彰一 濱野高行 坪井直毅 石本卓嗣
6	R7.12.1(2251)	脊髄性筋萎縮症に対する新たな治療	名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部・名古屋大学大学院医学系研究科臨床研究教育学教授 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学准教授 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学病院講師	橋詰 淳 佐橋健太郎 中田智彦
7	R7.12.15(2252)	再発難治癌に挑む：化学放射線療法後再発食道癌に対する光線力療療法（Photodynamic therapy: PDT）	名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学教授 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学講師 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学病院助教 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学病院助教	片岡洋望 田中 守 佐々木楓子 小島悠揮
8	R8.1.15(2254)	頭頸部アルミノックス治療について	藤田医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座臨床教授	加藤久幸
9	R8.2.1(2255)	次世代型リハビリテーション診療の拠点－患者第一を掲げた「プロリハ」の誕生－	愛知医科大学医学部 リハビリテーション医学講座教授	尾川貴洋
10	R8.2.15(2256)	ロボット支援下心臓手術（僧帽弁形成術）	名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科教授	六鹿雅登
11	R8.3.1(2257)	肥満症治療の最先端	名古屋市立大学病院内分泌・糖尿病内科病院助教 名古屋市立大学病院肥満症治療センター講師 名古屋市立大学病院肥満症治療センター准教授・副センター長	清水優希 青谷大介 田中智洋
12	R8.3.15(2258)	愛知医科大学病院 TACU病棟の運用開始	愛知医科大学医学部 救急集中治療医学講座教授	渡邊栄三
13	R8.5.15(2262)	進化するリハビリテーション医療	名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院リハビリテーション科 名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野	松原弘記 植木美乃

3 / 6

「愛知の先端医療」最新号 見本

[illegible]

4 / 6

「愛知医報」では、「愛知の先端医療」原稿の募集をしています。

目 的：先端医療、高い倫理観に基づく医療など、尖った医療を提供している県内の医療機関を紹介する。
また、患者さんの愁訴に真摯に耳を傾け、円滑な診療の一助とする。



掲載条件：次のいずれにも該当する条件で、最終的に広報委員会が適当と認めたものであること。

- ・疾病の予防や治療を目的としてあること
- ・原則、保険収載されている治療であること（自由診療は原則不可）
- ・先進的な取り組みであること
- ・その他、広報委員会が適当と認めたもの

掲載内容：・1企画あたり、2頁（3,600字以内）を原則とする

*写真を使用する場合は、1枚約270字換算とする（写真の返却はしない）

・医療機関名、対象疾患・症状、対象患者、治療方法など、わかりやすく明記する

*QRコードを掲載して、動画などを提供することも可能とする

お問い合わせ・原稿送付先

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目14番28号 愛知県医師会館内 「愛知医報社」宛

【仮事務所】〒455-0031 名古屋市港区千鳥一丁目13番22号

TEL：(052) 241-4139 FAX：(052) 241-4130 E-mail：koho@aichi.med.or.jp

5/6

愛知の先端医療
「お問い合わせ」欄掲載用様式

ご執筆いただいた「愛知の先端医療」につきまして、ご覧いただいた愛知県医師会会員が記事の内容についてのお問い合わせや患者さんの紹介などを検討する際の連絡先を記事の最後に掲載させていただきたく存じます。

つきましては、下記の「お問い合わせ」「TEL」「E-mail」をご記入いただき、愛知県医師会医療業務部第2課医報担当 (koho@aichi.med.or.jp) までお送りいただきますようお願いいたします。

	記入例：〇〇病院内科、〇〇病院地域医療連携室
お問い合わせ	
TEL	
E-mail	

担 当：医療業務部第2課

TEL：052-241-4139

FAX：052-241-4130

E-mail：chiiki_2@aichi.med.or.jp

6/6